

土木部復興トピックス（平成26年1月中旬～3月下旬）

●1月18日 岩沼市多重防御かさ上げ道路着工式 開催

岩沼市では、震災後早くから「減災を基本とした安全・安心なまちづくり」を目標に、千年希望の丘など防災・減災施設の整備に取り組んでいます。今回、多重防御として県内で初となる「かさ上げ道路整備事業」の着工式が開催されました。



●2月7日 宮城県土木部発足80周年記念フォーラム 開催

土木部は昭和8年に土木課から昇格し、今年度発足80周年を迎えました。これまでの80年のあゆみを振り返りながら、東日本大震災からの復興を通じ、更なる宮城の発展に向けて、これからの新しい年を切り開いていくため当フォーラムを開催しました。



当日は、480名以上のお客様にお越しいただきました。

▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku80-forum.html>

●2月14日 仙台国際貿易港首都圏セミナー 開催

東北・宮城に立地している荷主企業やコンテナ航路を有している船会社及び物流関係企業などに対し、港湾機能・貨物量ともにほぼ復旧を遂げた仙台塩釜港の状況や今後の事業展開、企業立地状況などの最新情報を提供し、コンテナ貨物の集荷や新規航路の誘致及び既存航路の維持を図ることを目的にセミナーを開催しました。



宮城県村井知事あいさつ

●「仙台－上海（経由）北京線」が運航再開、「仙台－神戸線」が新規就航します！

中国国際航空による「仙台－上海（経由）北京線」は、昨年10月末から運休されていましたが、3月30日から週2往復（水・日）での運航再開が決定しました。また、スカイマークによる「仙台－神戸線」が、4月1日から1日2往復で新規就航いたします。どうぞご利用下さい。



中国国際航空 提供



スカイマーク 提供

●2月1日 第3回復興加速化会議 開催

国、県、関係団体においては東日本大震災からの復興を加速化するため、施工確保対策など様々な取り組みを行っているところであり、当会議ではその情報共有を図っています。今回は、太田国土交通大臣ら出席のもと前回会議（昨年10月に開催）以降の状況についての認識を共有するため開催されました。

▲詳しくはURLを参照願います
https://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_003206.html

●2月12日 みやぎ復興住宅整備推進会議 開催

当会議では、関係機関や住宅関連団体による情報交換・共有を図るとともに、県民や全国に向けて、先進的で魅力ある宮城の住宅・まちづくりに関する情報発信を行っております。今回は、今年度4回目の開催となりました。



土木部角田次長あいさつ

▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/juutaku/miyagifuk koujuutakusuishin-h25-4.html>

●2月23日 長沼ダム試験湛水 洪水時最高水位に到達

平成25年11月1日からダム本体及び貯水池周辺地山の安全性を確認するため試験湛水を行ってまいりましたが、この度洪水時最高水位（K.P.12.6m）に達しました。今後、貯水池運用計画上の最低の水位である最低水位（K.P.6.5m）まで貯水水位を徐々に低下させ試験湛水を終了する予定です。（K.P.：北上川基準水面）



試験湛水前 洪水時最高水位到達状況

▲詳しくはURLを参照願います
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kasen/naganumas hiken.html>

○記事に関する問い合わせ○
宮城県土木部土木総務課企画調整班
TEL：022-211-3108
HP：
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>

宮城県土木部復興だより

第14号

平成26年3月25日発行

Contents

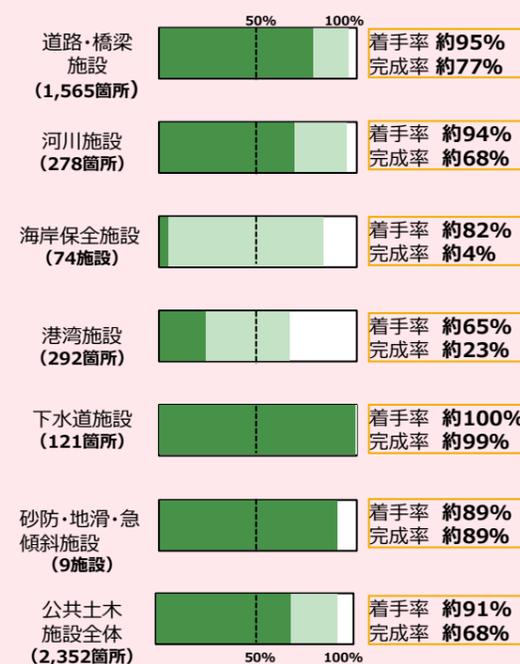
宮城県土木部の最新の復旧・復興関連ニュースを2ヶ月に一回のペースでまとめて発信しております。

- 東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【平成26年2月末現在】
- 土木部 復旧期（平成23年度～25年度）の歩み
- 土木部復興トピックス（平成26年1月中旬～3月中旬）



東日本大震災からの復旧・復興の進捗状況【平成26年2月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況

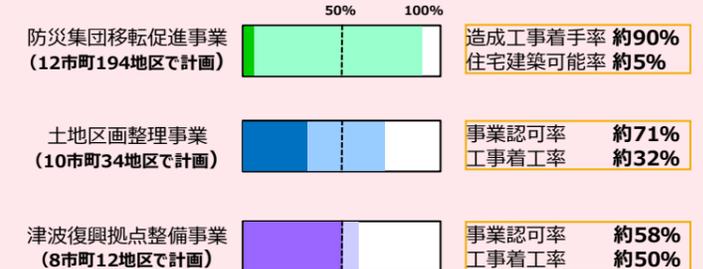


着手率：工事請負契約を締結したもの
完成率：工事が完了したもの



仙台塩釜港（仙台港区）雷神護岸直立消波ブロック据付完了状況（仙台市）

●復興まちづくり事業の進捗状況

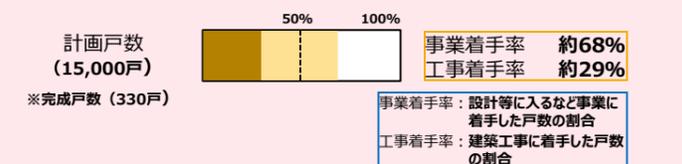


新渡波西地区 造成状況（石巻市）



造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
住宅建築可能率：造成工事が完了するなど住宅等建築工事が可能となった地区数の割合
事業認可率：事業計画が知事の認可を受けた地区数の割合
工事着手率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区数の割合

●災害公営住宅の整備状況



事業着手率：設計等に入るなど事業に着手した戸数の割合
工事着手率：建築工事に着手した戸数の割合



伊保石地区（一期）完成状況（塩竈市）



伊保石地区（一期）入居式（塩竈市）

▲詳しくはURLを参照願います <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>

土木部 復旧期 3年間の歩み

復旧期

発災～平成23年度

公共土木・建築施設の復旧

3月11日
午後2時46分東北地方太平洋沖地震が発生、巨大津波により甚大な被害をもたらす。

4月1日には「東日本大震災」と命名
気仙沼市を襲った大津波（県合同庁舎より）



3月14日
災害応援協定を締結していた11団体に応援要請

3月19日
県管理道路の通行規制がピーク。
(全166箇所)

4月21日
被災した公共土木施設等の復旧・復興工程表を公表

5月10日
公共土木施設第1次災害査定が始まる。

8月1日
自衛隊の県内での支援活動が終了

9月25日
仙台空港ターミナルビルが完全復旧。10月1日には仙台空港アクセス鉄道の全線運行再開

10月18日
津波で落橋した新北上大橋及び定川大橋が仮橋で通行可能に



10月24日
「宮城県社会資本再生・復興計画」を策定し公表

平成24年1月23日
公共土木施設災害査定完了
(全29次、5,908件)

3月3日
津波で甚大な被害を受けた大曲海岸の堤防復旧に着手



3月21日
「宮城県社会資本・再生復興計画緊急アクションプラン」を策定し公表

平成24年度

4月25日
仙塩浄化センター下水処理が震災前の50%の能力まで復旧したことから開始式を開催

5月17日
見える復興・みせる復興の取り組みとして河川・海岸の復旧高さや復旧スケジュールを公開

6月4日
石巻港で本格的な災害復旧工事に着手し着工式を開催。

6月7日
津波で甚大な被害を受けた菖蒲田海岸の本格的な災害復旧工事に着手し、着工式を開催

6月29日
夢メッセみやぎが早期の完全復旧

7月13日
宮城スタジアムで地震により破損していた屋根など、改修工事がすべて完了

9月10日
復旧復興事業で必要となる盛土材の安定確保などのため、盛土材連絡調整会議を開催

9月18日
石巻東部浄化センターで水処理施設が部分復旧し震災前と同様の生物処理を開始。これをもって県内下水処理場の全ての生物処理が再開

10月17日
定川河川災害復旧工事着工式を開催

12月4日
土木部業務継続計画（BCP）について震災の検証結果を受け改訂し運用を開始

平成25年1月29日
県内の都市公園のうち、津波災害により壊滅的な被害を受けた公園の災害復旧工事第1号として岩沼海浜緑地の工事に着手

3月22日
県南浄化センターの災害復旧工事が全て完成したことから完成式を開催

3月23日
仙台湾南部海岸の仙台空港等の重要インフラ施設を守る区間が早期完成

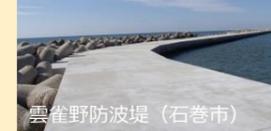
平成25年度

5月22日
女川湾口防波堤ケーソン据付開始



5月22日
復興のシンボルと誇れる運河群の再構築を目指し「貞山運河再生・復興ビジョン」策定

5月22日
石巻港雲雀野防波堤の災害復旧工事完了



8月29日
石巻市指定避難ビルにて津波避難に関する勉強会を開催

9月30日
慶長使節船ミュージアムドック棟 復旧工事完了



10月21日
(一) 青根蔵王線 峯々道路の災害復旧事業完了



11月13日
生コンクリート仮設プラント設置事業に関する履行協定を締結。この協定に基づき民間事業者が生コン仮設プラントを設置可能

12月1日
石巻東部浄化センター2系水処理施設復旧工事完了

12月16日
3.11伝承・減災プロジェクトの一環で伝承サポーターの募集を開始。随時、津波浸水表示板の設置。

12月17日
仙台塩釜港雷神護岸の災害復旧工事完了

平成26年1月
大曲地区海岸の突堤工事が完了

3月11日
発災から丸3年が経過。県内各地で哀悼の意が表される。

生活基盤の整備

3月14日
(社) プレハブ建築協会に仮設住宅10,000戸の建設を要請

3月28日
応急仮設住宅の建設に着手（第1次着工分 13市町1,110戸）

4月28日
塩竈市で県内初となる仮設住宅へ入居を開始

5月10日
被災建築物応急危険度判定を完了

5月19日
被災宅地危険度判定を完了

11月4日
応急仮設住宅が全戸分完成（15市町22,042戸）

12月21日
「宮城県復興住宅計画」を策定し公表

平成24年1月15日
応急仮設住宅の寒さ対策追加工事が完成（401団地、21,572戸）

2月21日
災害公営住宅の整備について被災市町と協定締結（東松島市、亘理町）

4月4日
災害公営住宅整備戸数を約12,000戸から約15,000戸に見直し

6月8日
第1回みやぎ復興住宅整備推進会議を開催

7月18日
宮城県災害公営住宅整備指針ガイドライン策定

8月5日
防災集団移転促進事業の第一号として岩沼市玉浦西地区で事業着手し着工式を開催

9月29日
女川町復興まちづくり着工式を開催。土地区画整理事業では津波被災地で初

11月20日
山元町新山下駅周辺地区第一期（その2）災害公営住宅の工事に着手。県整備としては初

平成25年3月25日
まちづくり事業の進捗状況、事業完了年度や住宅・宅地の供給時期を明示した復興まちづくり事業カルテを公表

4月1日
山元町新山下駅周辺地区など3市町3地区50戸の災害公営住宅で入居開始

4月12日
七ヶ浜町防災集団移転促進事業起工式を開催

6月13日
防災集団移転促進事業の事業計画に係る同意地区が100%に

7月13日
石巻市中里7丁目地区など20戸の災害公営住宅で入居開始

9月1日
栗原市若柳地区など3地区15戸の災害公営住宅で入居開始

10月11日
美里町御蔵場地区など3地区40戸の災害公営住宅で入居開始

11月8日
塩竈市港町地区一団地の津波防災拠点市街地形成施設事業認可書交付

12月21日
防災集団移転促進事業として岩沼市玉浦西地区第1期宅地引渡し式を開催。南三陸町においても造成工事竣工式を開催

交流・産業基盤の整備

3月11日
仙台空港がれきと土砂が堆積した旅客ターミナルビル前

4月13日
仙台空港で国内臨時便が震災後初就航

7月25日
仙台空港の国内定期便・国際臨時便が運行再開

11月19日
三陸道登米志津川道路の志津川トンネルで「復興道路着工式」を開催

平成24年3月30日
宮城県地方港湾審議会を開催。仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合について審議

3月21日
塩釜港石油専用栈橋に2000kl 積み石油輸送船が初入港

7月25日
仙台空港の国内定期便・国際臨時便が運行再開

11月19日
三陸道登米志津川道路の志津川トンネルで「復興道路着工式」を開催

平成24年3月30日
宮城県地方港湾審議会を開催。仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合について審議

5月21日
アジアナ航空による「仙台-ソウル線」のデイリー運航再開

5月31日
国道113号館矢間バイパスが開通

7月12日
仙台松島道路4車線化区間（利府中IC～松島海岸IC）の供用開始

8月8日
仙台松島道路の利府中IC～松島海岸IC間に休憩施設等を備えた本格的なパーキングエリアが完成

10月17日
中核的国際拠点港湾の実現に向けて仙台塩釜港、石巻港、松島港の統合一体化（港湾区域変更の同意と港湾法施行令の改正）

12月1日
仙台東部道路「仙台港IC」供用開始

平成25年1月23日
復興のシンボル大島架橋事業の事業着工式を開催

2月14日
平成14年に事業着手した本町橋架替事業「本町橋」が完成し、供用を開始

3月21日
国際拠点港湾となる新「仙台塩釜港」発足記念シンポジウムを開催

4月12日
ピーチ・アビエーションによる「仙台-大阪（関西）線」LCC東北初就航

4月20日
スカイマークによる「仙台-札幌（新千歳）線」、「仙台-福岡線」が新規就航

6月18日
外資コンテナ定期航路（韓国航路）の中国延伸

6月26日
ハワイアン航空による「仙台-ホノルル線」が新規就航

9月4日
大島架橋、本体工事に着手

12月4日
新造コンテナ専用船「さがみ」就航・初入港歓迎式典を開催

12月4日
タイ国際航空による「仙台-バンコク線」が新規就航

12月22日
仙台北部道路が富谷ICの供用開始により全線開通

港湾、空港の回復状況
H25年の仙台塩釜港コンテナ貨物取扱量が20万TEU（H22年比約94%）を突破。H25年の仙台空港乗降客数は5年ぶりに300万人を突破